

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

779

がん検診推進事業（国）

[長期総合計画]

分野別目標	4	誰もが安心して住み続けられる持続可能なまち
政策	7	健康で元気に暮らせる環境づくり
施策	1	健康づくりの推進
取組方針	2	成人保健対策の推進

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	衛生費		
	項	保健衛生費		
	目	成人保健対策費		
	大事業	成人保健対策事業		
	中事業	がん検診推進事業（国）		

事業種別	継続		関連個別計画	健康わかやま 2.1 推進計画		
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	地域保健課	上中 英人 488-5121
事業実施の根拠法令	健康増進法		関連課			

1 事業内容

事業目的	（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）		全体事業概要			
	がん検診の受診促進を図るとともに、がんの早期発見と正しい健康知識の普及啓発を目的とする		がん検診の受診促進、がんの早期発見と正しい健康知識の啓発を図るため、特定年齢に達した市民に対して子宮頸がん・乳がんに関する検診手帳及び費用が無料となるがん検診無料クーポンを送付			
事業内容		令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
		市医師会等に委託し、医療機関による個別検診と検診車による集団検診（乳がんのみ）を実施。子宮頸がん検診は20歳の女性、乳がん検診は40歳の女性を対象とする	市医師会等に委託し、医療機関による個別検診と検診車による集団検診（乳がんのみ）を実施。子宮頸がん検診は20歳の女性、乳がん検診は40歳の女性を対象とする	市医師会等に委託し、医療機関による個別検診と検診車による集団検診（乳がんのみ）を実施。子宮頸がん検診は20歳の女性、乳がん検診は40歳の女性を対象とする	市医師会等に委託し、医療機関による個別検診と検診車による集団検診（乳がんのみ）を実施。子宮頸がん検診は20歳の女性、乳がん検診は40歳の女性を対象とする	市医師会等に委託し、医療機関による個別検診と検診車による集団検診（乳がんのみ）を実施。子宮頸がん検診は20歳の女性、乳がん検診は40歳の女性を対象とする

2 事業コスト

事業費等（千円）	令和03年度		令和04年度		令和05年度		令和06年度		令和07年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	6,122	6,419	7,157	6,437	7,201	5,677	7,281	0	0	0
伸び率（%）	△13.6%	△5.7%	16.9%	0.3%	0.6%	△11.8%	1.1%	△100%	△100%	0%
人件費	正規職員	3,414	3,491	3,270	3,582	3,222	3,693	0	0	0
	正規職員以外	1,346	1,315	1,361	213	1,355	271	0	0	0
	小計	4,760	4,806	4,631	3,795	4,577	3,964	0	0	0
国庫支出金	950	2,149	888	959	997	959	984	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	10	9	10	14	18	24	27	0	0	0
一般財源（税等）	5,162	4,261	6,259	5,464	6,186	4,694	6,270	0	0	0
所要人数（人）	正規職員	0.44	0.45	0.42	0.46	0.41	0.47	0.00	0.00	0.00
	正規職員以外	0.61	0.60	0.62	0.11	0.62	0.14	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳	がん検診委託料5,346千円等									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
			目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
子宮がん検診（クーポン）受診者数		人	目標値				
			実績値	211	194	151	
			達成度(%)	%	%	%	%
乳がん検診（クーポン）受診者数		人	目標値				
			実績値	462	465	415	
			達成度(%)	%	%	%	%
子宮がん検診（クーポン）受診率		%	目標値				
			実績値	12.5	11.5	9.7	
			達成度(%)	%	%	%	%
乳がん検診（クーポン）受診率		%	目標値				
			実績値	22.4	22.9	20.4	
			達成度(%)	%	%	%	%

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか		達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	○ 達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	「女性特有のがん検診（子宮頸がん・乳がん）」の初めて対象年齢になった者を実施する無料クーポン配布事業を機会として、がん検診受診の勧奨を強く進めていく。
見直し・改善内容	女性の羞恥心への配慮や検査方法への正しい理解等の啓発に努め、健康に対する意識の向上に努めたい